

第3期第12回 帯広市産業振興会議 次第

日時：平成26年12月17日（水）10:00～

場所：帯広市役所10階 第5B会議室

I. 開 会

II. 報告

1. 帯広市産業振興ビジョンの見直しに関するパブリックコメントの実施について

III. 協議

1. 具体的な取組の検討について

IV. その他

V. 閉会

配付資料	・ 資料1	「帯広市産業振興ビジョン」の見直しに関するパブリックコメントの実施について
	・ 資料2	具体的な取組に関する意見一覧
	・ 資料3	事業検討シート
	・ 資料4	地域活性化モデルケースについて
	・ 参考資料	第11回帯広市産業振興会議議事要旨

【 募 集 要 領 】

「帯広市産業振興ビジョン」の見直しに関する パブリックコメント（市民意見の提出制度）の実施について

（計画・条例の概要説明と意見・提言の依頼文書）

帯広市では、私たち十勝の住民が豊かな生活を送り、地域の経済や産業を発展させるための基本方針として「帯広市産業振興ビジョン」を平成 21 年に決めました。このビジョンに基づき、帯広市の経済を支える中小企業を振興するための様々な事業を実施しており、平成 25 年には幸福駅の再生事業や、高校生のインターンシップなどを通じて地域企業を紹介する冊子「ワークワーク」などが作成されました。

平成 21 年に定められてから約 5 年が経過し、私たちを取り巻く社会や経済状況が大きく変化していることから、本ビジョンもそれに伴い見直しをする必要があります。

私たちの生活を支える地域経済の振興のために、帯広市産業振興ビジョンの見直しに関し、皆様のご意見をお寄せください。

1. 意見をいただく名称

帯広市産業振興ビジョン（見直し案）

2. 資料の名称・入手方法

資料の名称	入手方法		
	市ホームページ	閲覧	配付
パブリックコメント（市民意見の提出制度）実施について	○	○	○
帯広市産業振興ビジョン（見直し案）本文、概要版	○	○	○
資料 1（平成 25 年度帯広市産業経済実態調査 概要）	○	○	

3. 資料の閲覧・配付場所

施設名	所在	閲覧時間	休館日	連絡先
市庁舎 3 階 広報広聴課	西 5 南 7	8:45～17:30	土曜・日曜・祝日・年末年始	広報広聴課 65-4110
市庁舎 5 階 情報室	西 5 南 7	8:45～17:30	土曜・日曜・祝日・年末年始	行政推進室 65-4112
市庁舎 7 階 工業労政課	西 5 南 7	8:45～17:30	土曜・日曜・祝日・年末年始	工業労政課 65-4167
川西支所	川西町西 2	8:45～17:30	土曜・日曜・祝日・年末年始	59-2011
大正支所	大正本町	8:45～17:30	土曜・日曜・祝日・年末年始	64-5341
鉄南コミセン	西 2 南 24	9:00～22:00	火曜・年末年始	25-2295
東コミセン	東 7 南 9	9:00～22:00	火曜・年末年始	24-5750
緑西コミセン	西 17 南 4	9:00～22:00	火曜・年末年始	33-0625
啓北コミセン	西 13 北 2	9:00～22:00	火曜・年末年始	33-0623
西帯広コミセン	西 23 南 2	9:00～22:00	火曜・年末年始	37-3885
南コミセン	西 10 南 34	9:00～22:00	火曜・年末年始	47-0433
帯広の森コミセン	空港南町南 11	9:00～22:00	火曜・年末年始	47-3974
森の里コミセン	西 22 南 4	9:00～22:00	火曜・年末年始	36-3270
図書館	西 2 南 14	10:00～20:00 (土日祝～18:00)	月曜日(月曜祝日のときは翌日)・月 末・年末年始	22-4700
市民活動交流センター	西 2 南 8 (藤丸 8F)	10:00～19:00	年末年始・藤丸休業日	20-3004
十勝産業振興センター	西 22 条北 2	9:00～22:00	日曜・祝祭日・年末年始	38-8850
北海道立十勝圏地域食品 加工技術センター	西 22 条北 2	9:00～17:00	土曜・日曜・祝日・年末年始	37-8383

※帯広市ホームページからも閲覧・入手できます。(http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/)

4. 意見等の提出方法

- (1) 電子メール、ファクス、郵送、持参でお寄せください。(電話による意見の提出はできません。)
- (2) 提出様式は任意ですが、案件名、住所、氏名(法人その他の団体の場合は、名称および代表者名)を記載してください。(別紙「意見等の提出書」を参考にしてください。)
- (3) 電子メールによる提出の場合は、帯広市ホームページからダウンロードできる所定の様式以外の添付ファイルの使用はご遠慮ください。

5. 意見等の提出先

帯広市商工観光部工業労政課(市庁舎 7 階)まで
 〒080-8670 帯広市西 5 条南 7 丁目 1 番地
 ファクス番号 : 0155-23-0172
 メールアドレス : kogyo@city.obihiro.hokkaido.jp

6. 意見の募集期間

平成 26 年 12 月 19 日(金)～平成 27 年 1 月 19 日(月)

※郵送の場合は当日必着

※持参の場合は平日 8 時 45 分～17 時 30 分（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

7. その他

- (1) 意見提出用紙の大きさや枚数は問いませんが、意見が長文になる場合や、膨大な資料を提出する場合は、併せてその要旨を提出してください。
- (2) 募集締切後、意見を取りまとめ提出意見およびその意見に対する市の考え方を公表します。なお、提出時に記載された住所、氏名については、公表しません。

意見等の提出書

[illegible]

※この様式をご使用の方はファクスか郵送、または直接下記の担当課へご持参ください。

【提出先・問い合わせ先】

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

課名 工業労政課 TEL:0155-65-4167 FAX:0155-23-0172

※必須項目については、必ずご記入ください。

※法人その他の団体にあつては、「住所」欄に事務所または事業所の所在地、「氏名」欄に名称および代表者の氏名をご記入ください。

※意見等記入欄が足りないときは、別紙を添付してください。

I. 産業振興ビジョンの基本的な考え方

1. 目的等

「産業振興ビジョン」（以下「ビジョン」）は、地域産業及びその担い手である中小企業（小規模企業を含む。以下同じ。）等が地域社会の発展に果たす役割の重要性を認識のもと、帯広・十勝を取り巻く社会経済環境の変化等を踏まえ、市と中小企業者（小規模企業者を含む。以下同じ。）等が協働して取り組む産業振興の基本方向や推進する施策などを明らかにすることを目的に策定するものです。

また、このビジョンは、帯広市中小企業振興基本条例第4条の規定に基づき、地域の中小企業関係団体と密接に連携し、市長が定める“中小企業振興のための指針”の性格を併せもっています。

2. 構成及び期間

このビジョンは、帯広市中小企業振興協議会から提出された『中小企業振興に関する提言書』（平成20年8月27日提出。『資料編』参照）をもとに、市と中小企業者等との協働により取り組む産業振興施策等を体系的にまとめたものです。

ビジョンは全体を「5つの施策の基本方向」と「20の基本施策」を基本に、重点的に推進する「7つの重点プロジェクト」と基本施策を具体化するために実施する「52の展開事業」を体系的に整理しています。

ビジョンの期間は、第六期帯広市総合計画との整合を考慮し、平成21年度から概ね10年間程度とします。

3. 推進方策

ビジョンの実効性を確保するとともに、選択と集中を図りながら効果的に推進するため、取り組むべき施策や事業について「工程表（『資料編』参照）」を作成し、計画的な推進に努めます。

また、毎年度、施策等の実施状況などの点検・評価を行い、評価結果や関係機関等の意見等を踏まえて、『帯広市産業振興会議』（平成21年3月30日設置）と協働で施策の展開方策等の適切な見直しを図ります。

さらに、社会経済状況の変化や国の政策等の動向を踏まえて適切な振興施策を講じるため、施策・事業の効果などを勘案しつつ、概ね5年を経過した時点で総合的に点検・評価し、必要に応じてビジョンの見直しを行います。

3. 展開施策

帯広市の産業の「産業振興の基本的な考え方」と「産業振興の基本方向」をもとに、産業振興ビジョンに基づく施策を推進するため、5つの「施策の基本方向」ごとに重点的に推進する施策を「重点プロジェクト」として設定するとともに、取り組むべき施策を「20の基本施策」と「5.2の展開事業」として整理しています。

また、ビジョンの効果的な推進を図るため、「選択と集中」の考え方に基づき、取り組むべき施策や事業について工程表（『資料編』参照）を作成し、総合的、計画的に推進します。また、工程表は『帯広市産業振興会議』と協働で毎年点検し、施策や事業の成果を客観的に表すデータを収集するなど、現状、課題を踏まえて必要な見直しを行います。

（1）中小企業の経営基盤の強化

地域経済の活力がなければ、地域コミュニティや行政サービスの維持が困難になります。地場企業の大半を占める中小企業の振興は、豊かな市民生活を支えるために不可欠な取り組みです。雇用の確保・拡大は、市民所得の向上をもたらすなど、帯広・十勝の経済の振興・活性化に不可欠であり、地域雇用の担い手である中小企業は、極めて重要な存在であることは言うまでもありません。

「人財」「モノ」「金」「情報」などの経営資源に注目しながら、中小企業振興を総合的に支援する施策の拡充を図ります。

【重点プロジェクト（1）創業・起業支援プロジェクト】

少子高齢化、人口減少が進む中で、地域の活力の維持や全体の市場の拡大を図っていくことが重要となっています。そのため、将来性のある新たな産業分野での創業・起業が期待され、創業のマインドを高めていくことが重要です。

「創業・起業」を活発化するためには教育の重要性が第一に挙げられることから、地域産業を支える人材育成について、教育委員会や保護者の理解と協力を得ながら、小中高・高等教育を通して一貫した取り組みとなるよう、長期的な視点に立って施策を進めます。

また、創業や起業を支援するため、相談者に対して多面的なサポートをすることができるよう体制を整備します。

重点プロジェクトを構成する施策▲創業・起業支援

展開事業(06)■創業・起業応援

●子どもの職業観育成はできるだけ早期の段階から実施することが望ましく、「働くことの大切さや喜び」更には「創業することの素晴らしさ」を伝えたり、働くことを体験する場の提供等について、長期的な視点に立ち、教育委員会や保護者の理解と協力を求めながら取り組みます。

●創業・起業をした人、これから創業・起業を志す人に対し、情報提供やアドバイス

● 2016年に北海道新幹線が開業し、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、道内、首都圏、及び東アジア地域など国内外での官民一体となったプロモーション活動を促進するほか、外国人誘客の先進地域との連携及び「帯広三大まつり」や各種イベントを活用した誘客を推進します。

● 映画、テレビ、CMなどのロケーション撮影を誘致し、ロケ地観光を推進します。

重点プロジェクトを構成する施策▲恋人の聖地イメチェン

展開事業(44) ■幸福魅力づくり整備

● ばんえい競馬を主体とした市内の観光資源を活かし、恋人の聖地となった幸福駅周辺に飲食、農畜産物、土産品販売など魅力ある複合的な観光拠点施設の整備を進めます。

● 景観と食を満喫できる場所づくりとして、ファームレストランや農村カフェなどの起業化を誘導する施策を検討します。

【重点プロジェクト以外の推進施策】

◆20の基本施策⑱集客交流産業の振興

展開事業(39) ■食観光・産業観光推進（重点プロジェクト再掲）

展開事業(40) ■総合観光情報提供（重点プロジェクト再掲）

展開事業(41) ■観光客誘致、ロケ誘致推進（重点プロジェクト再掲）

展開事業(42) ■移住促進・移住体験

展開事業(43) ■観光「人財」育成

● ライフスタイル型の体験事業を通じ、滞在期間中に各種資格を取得したり、生涯の趣味を見出していける「プチ留学体験プログラム」を開発提供し、長期滞在にお得な宿泊施設の斡旋・紹介する施策について検討します。

● 観光振興の地域プロデュース推進組織として、帯広観光コンベンション協会や十勝観光連盟の組織機能や人材育成の強化を図ります。

● 「とちかち検定」の普及や資格取得者の利活用による観光案内の充実を図ります。

◆20の基本施策⑲拠点づくりの推進

展開事業(44) ■幸福魅力づくり整備（重点プロジェクト再掲）

展開事業(45) ■まちの魅力再発見

展開事業(46) ■コンベンション誘致HQの設置

展開事業(47) ■観光インフォメーション機能の充実

具体的な取組に関するご意見		着手年度			
		H27	H28	H29	H30
経営基盤					
1	● 創業・起業の促進を通して地域全体の活性化を促す	●			
2	● 関係機関・団体の各種施策の活動の情報共有と発信の統一化	●			
3	● 商店街や個店等の活性化を促進する	●			
人材					
● U・Iターン者の確保					
4	U・Iターン経験者からの聞き取りによるニーズ調査	●			
5	U・Iターン者へのフォローアップ		●		
6	ホームページ、十勝以外に居住する十勝出身者のネットワーク等を活用し、十勝の魅力を発信	●			
● 地元企業の情報・魅力の発信					
7	出前講座、職業体験イベント、副読本等を利用した小中学生への情報発信	●			
8	長所・短所に関わらず、企業側の正確な情報を発信	●			
● 研修などの教育制度の充実					
9	一企業での研修は負担が大きいため、業界関係者が共同で行う研修制度の整備		●		
10	次世代リーダー育成のための継続的な研修の実施		●		
● 社内での人材育成制度改革					
11	「人材育成工程表」の作成と、人材育成に係る社内での認識の共有化	●			
12	メンター制度への理解促進と導入の推進	●			

具体的な取組に関するご意見		着手年度			
		H27	H28	H29	H30
ものづくり・販路拡大					
● 支援制度の活用サポート					
13	支援制度等の情報とその活用方法をメール配信や情報誌等の手法を用いて、企業に提供する	●			
14	企業支援のホームページは、デザインや機能を整理し、企業にとって見やすく情報を検索しやすいように工夫する	●			
15	支援制度の活用にあたっては、行政のノウハウを有効に活用し、エントリーしやすいようにする	●			
● 企業同士の連携促進					
16	生産、加工、流通等、中小企業1社だけで取り組むことが難しいことを共同・連携して行うために、企業同士の接点を作る場を提供する	●			
17	各企業が持つネットワークを可能なかぎり「見える化」し、有効に活用する	●			
18	5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)等、各企業において共通する取り組みで連携し生産性を上げる	●			
● 大学・試験研究機関との連携促進					
19	地域、企業の課題解決にマッチする帯広畜産大学の学部等の分析を行う	●			
20	とかち財団等の試験研究機関の役割・機能を整理し、企業の課題解決のために活用する	●			
21	高等技術専門学院等において、地域で伸ばしたい産業についての教育プログラムの作成などを行い、実務的な人材教育を行う		●		
● 「つながり」を活かした情報発信力の強化					
22	「十勝を丸ごと売る」という考えのもと、各企業が持つネットワークを有効に使い、情報発信を行う	●			
23	企業⇒消費者⇒企業という情報の流れを活かすため、消費者を巻き込んだ取り組みを行う		●		
24	インターネットを有効に活用し、十勝のことを全て調べられるようなホームページの開設や生産者、業界団体の共同展開等を行う		●		
25	販路拡大に向けて域外にある機関等を活用する	●			
26	海外に向けた情報発信を強化するために、翻訳や通訳を担える人材を登用する	●			
27	地域の魅力ある企業の情報をデータベース化し、地域内外に発信する	●			

具体的な取組に関するご意見		着手年度			
		H27	H28	H29	H30
産業基盤の強化					
● 共同利用施設や物流システムのあり方の研究・検討、設備投資の促進					
28	共同利用施設、物流システムの構築による効率化の研究・検討（十勝産食材の仕入れ先の確保等）	●			
29	交通ネットワーク等、企業立地環境の整備推進		●		
30	設備投資促進のための財政支援の拡充		●		
● 情報発信の集約化					
31	ビジネスマッチングに特化した情報集約・発信。（インターネット等による域内企業の効果的な紹介等）	●			
32	観光ポータルサイトの整備		●		
33	● 再生可能エネルギーへの取組への抜本的検討	●			

具体的な取組に関するご意見		着手年度			
		H27	H28	H29	H30
集客・交流					
● 地域の魅力向上					
34	体験⇒物販⇒飲食などのストーリー性や統一感のある観光地の形成を目指す	●			
35	「とちかち検定」の実務化や資格取得者の雇用及び利活用の促進による観光案内の充実を図る	●			
36	「道の駅」の設置やインターチェンジの増設の要請などインフラ整備による観光客等の利便性の拡大について検討		●		
37	道東自動車道延伸に対応した事業展開及び他地域との連携を図る（沿線地域との情報共有や周遊ルートの造成連携など）	●			
38	「フードバレーとちかち」の概念や基準をわかりやすく示し、飲食店やホテルなど民間企業が関わりやすい環境を整えることで、民間による「フードバレーとちかち」の普及を促進する（ホテルや飲食店などで共通食材の提供など）	●			
● 地域の魅力発信					
39	外国人誘客の先進地域との連携や既存の情報発信媒体を活用したPR活動を図る	●			
40	専門家や発信力のある人などを対象とした効果的なPRイベントを実施する（飲食事業者を対象に有名なパン屋さんを講師とした講習会の実施など）		●		
41	ホテルや旅行会社等と連携したアンケートの実施、及び客観的データの共有を図り、それらを活用した情報発信を行う		●		
42	地域住民に十勝・帯広が観光地であることを意識付けするため、フォーラム等を定期的に開催する（パネルトークや住民参加型のワークショップの開催など）	●			
● 満足度の提供					
43	農場とガーデンの連携など観光ルートへのストーリー性の付加、及び新たな周遊ルートの造成を促進する	●			
44	専門的な案内ができる農業ガイドを養成するなど、「十勝らしい」体験型観光の深化・醸成を図る	●			
45	「食」をメインとした観光振興に、知的観光資源やサイクリングなど他分野の観光資源を絡めた観光振興を推進する	●			
46	外国人観光客の「不安・不自由・不便」を軽減するため、観光案内や飲食メニューを外国語や写真で表示するなどインフォメーションサービスの向上を検討する	●			
47	バス・タクシーなどの二次交通を利用する観光客に対する情報提供の充実を図る	●			

1

事業検討シート		
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化	
具体的な取組に関するご意見	1 創業・起業の促進を通して地域全体の活性化を促す	
現状の取組	①事業主体	帯広市ほか
	②事業内容	創業・起業支援フェアの開催 平成19～26年度 年1回 累計8回開催 起業した方の講演、支援制度説明、個別相談 帯広地域雇用創出促進協議会が、平成26年度より創業セミナーを開催(3カ年事業)
	③その結果	平成19年度から25年度まで、フェア参加者のうち19者が創業・起業
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広商工会議所(帯広市、市内金融機関、研究機関等)
	②想定される具体的な内容	上記、フェアに加えて、平成27年度より創業支援ネットワークの活用により、個別の創業案件について各関係機関が連携して支援を実施する。

2

事業検討シート		
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化	
具体的な取組に関するご意見	2 関係機関・団体の各種施策の活動の情報共有と発信の統一化	
現状の取組	①事業主体	帯広市中小企業研修連携会議
	②事業内容	総合的、効果的な人材育成を推進するため、地域の関係機関が横断的に連携し、総括的に市がホームページにて研修情報等を掲載。
	③その結果	各機関の研修等を総括的に情報発信することにより、受講者数の増加が見込まれた。
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広市中小企業研修連携会議
	②想定される具体的な内容	上記研修情報の掲載のほか、平成27年度より各機関の研修の相互活用などの方策を検討する。

3

事業検討シート		
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化	
具体的な取組に関するご意見	3 商店街や個店等の活性化を促進する	
現状の取組	①事業主体	帯広市、商店街
	②事業内容	商店街の事業への補助 商店街が実施する、にぎわいの創出や環境整備などを支援し、商店街の活性化を図る
	③その結果	まちのイメージアップ、利便性の向上のほか、商店街を含む地域コミュニティ機能の強化やまちのにぎわいの創出が図られ、営業店舗の増加や空店舗の減少に寄与している
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（帯広市商店街振興組合連合会）
	②想定される具体的な内容	上記支援に加え、平成27年度より個店魅力の向上に資する研修を開催するほか、商店街への意向調査を実施し、補助制度の見直しを検討する。

4

事業検討シート		
施策の基本方向	2 産業人・担い手の育成	
具体的な取組に関するご意見	4 U・Iターン経験者からの聞き取りによるニーズ調査	
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	現状、U・Iターン者の実態の把握ができていない。 住民票などでも、単なる転勤なのか、U・Iターンとして引っ越してきたのかの判断はできないため、実数把握も難しい。
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会とかち支部）
	②想定される具体的な内容	帯広市に転居してくる人に、アンケートを配布し、実態を把握する。 関係団体等と連携しながら把握できる範囲のU・Iターン者リストを作成し、聞き取りによるニーズ調査を実施する。

事業検討シート		
施策の基本方向		2 産業人・担い手の育成
具体的な取組に関するご意見		5 U・Iターン者へのフォローアップ
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	現状、U・Iターン者の実態の把握ができておらず、フォローアップもできていない。 帯広地域雇用創出促進協議会（ジョブジョブとかち）において、「就活情報提供サービス」を行い、登録者（全道・全国）へ地元の合同企業説明会等の情報提供を行っている。
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会とかち支部）
	②想定される具体的な内容	ニーズ調査を踏まえ、U・Iターン者にどのようなフォローアップが必要か、検討をすすめる。

事業検討シート		
施策の基本方向		2 産業人・担い手の育成
具体的な取組に関するご意見		6 ホームページ、十勝以外に居住する十勝出身者のネットワーク等を活用し、十勝の魅力を発信
現状の取組	①事業主体	帯広市
	②事業内容	移住のためのホームページはあるが、U・Iターン希望者向けの企業紹介を行うホームページは設けていない。 平成25年度に作成した十勝の企業を紹介する情報誌「ワークワーク」のホームページへのリンクはあり。 帯広地域雇用創出促進協議会（ジョブジョブとかち）において、「就活情報提供サービス」を行い、登録者（全道・全国）へ地元の合同企業説明会等の情報提供を行っている。
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市
	②想定される具体的な内容	U・Iターン者向けに、就業や働く人に視点を置いたホームページや情報冊子等を作成する。 （掲載企業からも負担金を集め、財源を捻出する。） U・Iターンフェアへの出展や高校生の進学先への配布、東京帯広会等、十勝管外の十勝関係者のネットワーク等を活用し、ホームページや情報冊子等のツールを用いて、十勝の情報を発信する。

7

事業検討シート		
施策の基本方向		2 産業人・担い手の育成
具体的な取組に関するご意見		7 出前講座、職業体験イベント、副読本等を利用した小中学生への情報発信
現状の取組	①事業主体	帯広市ほか
	②事業内容	小学3、4年生を対象に、職業体験をしてもらうおびひろキッズタウンを開催。 平成24年度より実施 平成26年度は11月29日(土)に実施 参加企業21社 参加児童 約350名
	③その結果	児童が楽しみながら、職業に対する関心を持てた。
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広市
	②想定される具体的な内容	おびひろキッズタウンの継続 小中学校向け、職業出前講座(職業紹介)の実施 出前講座を希望する企業を募集し、講座内容を一覧にして、各学校へ配布 地元企業に関心を持ってもらうような小中学生向け副読本の作成(平成28年度以降 内容、財源等要件等)

8

事業検討シート		
施策の基本方向		2 産業人・担い手の育成
具体的な取組に関するご意見		8 長所・短所に関わらず、企業側の正確な情報を発信
現状の取組	①事業主体	各企業
	②事業内容	現状、帯広市では個々の企業情報等の発信は行っていない。 各企業がそれぞれに会社紹介パンフ、求人パンフを作成
	③その結果	
今後の取組(想定)	①事業主体	各企業
	②想定される具体的な内容	求職者が、その企業に就職したいと思うような情報の発信 (企業にとって不利な情報も提示することで、逆に信頼を得る) (企業の将来像を提示することで、安心感を与え、本人のやる気を促す)

事業検討シート		
施策の基本方向		2 産業人・担い手の育成
具体的な取組に関するご意見		9 一企業での研修は負担が大きいと、業界関係者が共同で行う研修制度の整備
現状の取組	①事業主体	帯広市中小企業研修連携会議
	②事業内容	総合的、効果的な人材育成を推進するため、地域の関係機関が横断的に連携し、総括的に市がホームページにて研修情報等を掲載。 北海道中小企業家同友会とかち支部では、長年にわたり新入社員や若手社員、中堅幹部向けの育成カリキュラムに取り組んでいる。 (主な研修) 新入社員研修、新入社員フォローアップ研修 社員ステップアップセミナー(全10講座) 中堅幹部学校(全15講座程度) ※年度によって変動
	③その結果	各機関の研修等を総括的に情報発信することにより、受講者数の増加が見込まれた。
今後の取組(想定)	①事業主体	① 帯広市中小企業研修連携会議(北海道中小企業団体中央会十勝支部) ② 帯広市(各企業)
	②想定される具体的な内容	① 上記研修制度の周知に加え、平成28年度より各業界の組合が行う研修制度の整備の支援する。 ② 早期離職対策として、7月頃に新入社員向けのフォローアップセミナーを開催し、安易な離職を防止する。

事業検討シート		
施策の基本方向		2 産業人・担い手の育成
具体的な取組に関するご意見		10 次世代リーダー育成のための継続的な研修の実施
現状の取組	①事業主体	① 帯広商工会議所 ② フードバレーとかち推進協議会、個別事業者
	②事業内容	① 経営者研修の開催 平成20年度より、経営者を対象とした研修プログラムを新設し、開催。 ② 十勝人チャレンジ支援事業フォローアップ 十勝で産業に従事する者のうち、十勝人チャレンジ支援事業を活用して自らの課題解決のための調査研究等を行った者を中心に、互いの活動報告や意見交換を通じて、異業種の事業者間の人的ネットワークの構築を図るとともに、課題解決や新たな事業展開の発想を見つけ、新たなビジネスを創造するきっかけを探す。平成26年12月までに「十勝人の集い(仮称)」として2回開催。年度内にもう1回開催予定。 おびしん経営塾 経営者大学(全10講座) ※同友会とかち支部 平成27年1月開講などがあり
	③その結果	① 財務経営力強化セミナー、創業セミナーなど、複数回、継続的な開催。 ② 平成26年度からの取組であり、効果の出現はこれから。 なお、1回目は20人、2回目は9人の産業人の参加があり、人的ネットワークの構築に貢献。
今後の取組(想定)	①事業主体	① 帯広商工会議所 ② フードバレーとかち推進協議会(個別事業者)
	②想定される具体的な内容	① 上記研修に加え、平成28年度よりリーダー養成研修、事業継承研修等による、次世代のリーダー養成研修の開催。 ② 事業目的は平成26年度と同様。ただし、平成26年度はフードバレーとかち推進協議会が中心となって開催してきたが、平成27年度以降は各事業者の自主性を生かした取組に移行する。

事業検討シート		
施策の基本方向		2 産業人・担い手の育成
具体的な取組に関するご意見		11 「人材育成工程表」の作成と、人材育成に係る社内での認識の共有化
現状の取組	①事業主体	各事業者
	②事業内容	各企業において個別に取り組んでおり、具体的な取組状況は不明。
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	各事業者（帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会とかち支部）
	②想定される具体的な内容	各事業者で取り組むべき「人材育成工程表の導入」について、事業者間同士の集会等において、先進的に取り組んでいる企業等から取組・効果等について紹介してもらうなど、普及・啓発を進める。

事業検討シート		
施策の基本方向		2 産業人・担い手の育成
具体的な取組に関するご意見		12 メンター制度への理解促進と導入の推進
現状の取組	①事業主体	各事業者
	②事業内容	各企業において個別に取り組んでおり、具体的な取組状況は不明。
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	各事業者（帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会とかち支部）
	②想定される具体的な内容	各事業者で取り組むべき「メンター制度の導入」について、事業者間同士の集会等において、先進的に取り組んでいる企業等から取組・効果等について紹介してもらうなど、普及・啓発を進める。

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		13 支援制度等の情報とその活用方法をメール配信や情報誌等の手法を用いて、企業に提供する
現状の取組	①事業主体	帯広市、帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会とかち支部、中小企業総合支援センター 他
	②事業内容	【帯広市】 企業訪問やメールマガジンによるセミナー、支援制度等の情報提供 【商工会議所、中小企業家同友会】 HP、メールマガジンの発行によるセミナー情報等の情報提供 【中小企業総合支援センター】 支援制度ガイドブックの発刊、HPIによる支援制度等の情報提供
	③その結果	【成果】 それぞれの支援機関を窓口補助制度の採択、セミナー等参加による意識の向上が見られる。 【課題】 このような制度にエントリーする企業に固定化の傾向が見られることから、より一元的かつわかりやすい情報公開が求められている。
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会とかち支部、中小企業総合支援センター 他）
	②想定される具体的な内容	情報発信等の一元化を図ることなど、企業へ必要な情報を届けるためのより効果的な手法について、関係機関が連携して検討する。

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		14 企業支援のホームページは、デザインや機能を整理し、企業にとって見やすく情報を検索しやすいように工夫する
現状の取組	①事業主体	中小企業総合支援センター 他
	②事業内容	【中小企業総合支援センター】 支援制度ナビにより、事業段階ごとにカネ・モノ・ヒトに分類した支援情報の検索が可能 【ミラサボ（中小企業庁委託事業）】 公的支援機関の補助制度等をHPで公開
	③その結果	【成果】 事業者が自社の状況に合わせた補助制度などを自身で検索することができる。 【課題】 時間、人員を十分に確保できない中小企業者が、自力で支援情報を探し活用することは困難
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会とかち支部、中小企業総合支援センター 他）
	②想定される具体的な内容	情報発信等の一元化を図ることなど、企業へ必要な情報を届けるためのより効果的な手法について、関係機関が連携して検討する。【13 再掲】

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		15 支援制度の活用にあたっては、行政のノウハウを有効に活用し、エントリーしやすいようにする
現状の取組	①事業主体	帯広市、中小企業総合支援センター、他支援機関
	②事業内容	【支援機関共通】 補助金の申請時の相談窓口の設置 【帯広市】 公益性の見られる事業への実施主体としての参画
	③その結果	【成果】 珈琲専科ヨシダ「ものづくり補助金」 アサヒ金物「中小企業事業応援ファンド」 他、多数の補助制度の獲得 JICA草の根事業における申請主体としての参画 【課題】 相談窓口としては各機関とも活動しているが、中小企業の認知が足りない点、また申請書作成にかかる事務手続きの煩雑さの解決には至っていない。
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（中小企業総合支援センター、他支援機関）
	②想定される具体的な内容	行政をはじめ支援機関が、支援制度に関する情報提供や申請書の作成支援等を行い、サポートを行う。

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		16 生産、加工、流通等、中小企業1社だけで取り組むことが難しいことを共同・連携して行うために、企業同士の接点を作る場を提供する
現状の取組	①事業主体	帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会とかち支部
	②事業内容	【同友会、商工会議所】 同友会活動、会議所活動を通じて会員企業同士の連携を促進
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	商工会議所・北海道中小企業家同友会とかち支部
	②想定される具体的な内容	情報交換会、異業種交流、ビジネスマッチング等を通じて、企業間連携の機会を提供する。

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		17 各企業が持つネットワークを可能なかぎり「見える化」し、有効に活用する
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	同友会では会員企業の紹介ページ、会議所では会員企業HPのリンク集をホームページに掲載しているが、各企業のネットワークを見える化した事例はない。
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広商工会議所・北海道中小企業家同友会とかち支部（各企業）
	②想定される具体的な内容	情報交換会、異業種交流、ビジネスマッチング等を通じて、企業間連携の機会を提供する。【16 再掲】

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		18 5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)等、各企業において共通する取り組みで連携し生産性を上げる
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広商工会議所・北海道中小企業家同友会とかち支部（各業界団体）
	②想定される具体的な内容	事業者間同士の集会等において、先進的に取り組んでいる企業等から取組・効果等について紹介してもらうなど、普及・啓発を進める。

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		19 地域、企業の課題解決にマッチする帯広畜産大学の学部等の分析を行う
現状の取組	①事業主体	帯広畜産大学
	②事業内容	帯広畜産大学のシーズ集の発行(H16)
	③その結果	【成果】 【課題】 継続的な更新が滞っている。 HP等に掲載されておらず、誰でも閲覧できる環境にない。
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（帯広畜産大学）
	②想定される具体的な内容	帯広畜産大学地域連携促進センターと協働でシーズ集の作成、更新スキームを確立し、シーズ集をHPに掲載するなど誰もが閲覧できる環境を整備する。

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		20 とかち財団等の試験研究機関の役割・機能を整理し、企業の課題解決のために活用する
現状の取組	①事業主体	北海道、帯広市、とかち財団
	②事業内容	【食品加工技術センター】 各種事業展開による企業との連携促進 ・試験研究 ・技術指導 ・人材養成 ・技術交流 ・情報提供、成果普及 ・試験分析 ・指定管理事業 今後10年間の施設のあり方などについて、道、市等関係機関と協議 【十勝産業振興センター】 各種事業展開による企業との連携促進 ・企業相談事業 ・検査分析事業 ・試験研究事業 ・情報提供事業 ・人材育成事業 ・産学連携事業
	③その結果	【成果】 企業との商品開発実績 ブリ・ド・トカチ(ナチュラルチーズ)、とうふくんジャーキー ナッツ類トッピング装置の開発、血乳検査装置の開発 他 多数 【課題】 各企業による商品等開発実績が多数ある一方で、センターの機能等を把握していない企業が見られる。センター機能、地域で果たすべき役割が不明確
今後の取組（想定）	①事業主体	とかち財団（帯広市）
	②想定される具体的な内容	食品加工技術センターや十勝産業振興センターの役割・機能をわかりやすく紹介する手法を確立するとともに、企業訪問等を通じて、それらの役割・機能の周知を図る。

21

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		21 高等技術専門学院等において、地域で伸ばしたい産業についての教育プログラムの作成などを行い、実務的な人材教育を行う
現状の取組	①事業主体	帯広市、関係機関
	②事業内容	畜大との連携による人材育成事業の実施 (フードバレーとかち人材育成事業)
	③その結果	平成24年度からの実績 132名の修了生(平成26年度11月時点) 商品開発、HACCP取得、特許申請などの成果
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広市 (関係機関)
	②想定される具体的な内容	高等技術専門学院のカリキュラムについては、同学院の運営協議会等を通じて、地域企業のニーズを伝えていく。 企業ニーズ等を踏まえて、必要と考えられる人材育成事業を検討する。

22

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		22 「十勝を丸ごと売る」という考えのもと、各企業が持つネットワークを有効に使い、情報発信を行う
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	同友会では会員企業の紹介ページ、会議所では会員企業HPのリンク集をホームページに掲載しているが、各企業のネットワークを見える化した事例はない。
	③その結果	
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広商工会議所・北海道中小企業家同友会とかち支部 (各企業)
	②想定される具体的な内容	情報交換会、異業種交流、ビジネスマッチング等を通じて、企業間連携の機会を提供する【16 再掲】ほか、共同で情報発信を行う手法を検討する。

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		23 企業⇒消費者⇒企業という情報の流れを活かすため、消費者を巻き込んだ取り組みを行う
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広商工会議所・北海道中小企業家同友会とかち支部（各企業）
	②想定される具体的な内容	消費者モニター等、「ロコミ」を活かす取組を検討する。

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		24 インターネットを有効に活用し、十勝のことを全て調べられるようなホームページの開設や生産者、業界団体の共同展開等を行う
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（関係機関）
	②想定される具体的な内容	関係者間において、総合ホームページの開設を検討する。

25

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		25 販路拡大に向けて域外にある機関等を活用する
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	十勝海外展開連絡会議 ※事務局：帯広市
	②想定される具体的な内容	海外販路の拡大に向けては、JETRO等の公的機関をはじめ、金融機関との連携を強化する。

26

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		26 海外に向けた情報発信を強化するために、翻訳や通訳を担える人材を登用する
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	十勝海外展開連絡会議 ※事務局：帯広市
	②想定される具体的な内容	海外販路の拡大に向けては、JETRO等の公的機関をはじめ、金融機関との連携を強化する。【25 再掲】

事業検討シート		
施策の基本方向		3 ものづくり産業の振興
具体的な取組に関するご意見		27 地域の魅力ある企業の情報をデータベース化し、地域内外に発信する
現状の取組	①事業主体	とかち財団、帯広市
	②事業内容	「十勝の食材データベース」(食品加工技術センター、とかち財団) とかち農業ストーリーブック(帯広市)
	③その結果	
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広市
	②想定される具体的な内容	十勝管外の十勝関係者のネットワーク等を活用し、ホームページや情報冊子等のツールを用いて、十勝の情報を発信する。【6 再掲】

事業検討シート		
施策の基本方向		4 産業基盤の強化
具体的な取組に関するご意見		28 共同利用施設、物流システムの構築による効率化の研究・検討(十勝産食材の仕入れ先の確保等)
現状の取組	①事業主体	フードバレーとかち推進協議会
	②事業内容	十勝地域の物流の高品質化を図るため、物流面で十勝を魅力ある地域に成長させることを目的とした「フードバレーとかち物流改善支援セミナー」を開催(平成26年度)(年5回開催)
	③その結果	平成26年度からの取組であり、効果の出現はこれから。 なお、5回で1セットのセミナーとなっており、登録者43名。
今後の取組(想定)	①事業主体	各事業者
	②想定される具体的な内容	各事業者がセミナーでの気付きを踏まえ、より効率的な物流システムの構築に取り組む。(必要に応じて協議会がフォローアップ)

事業検討シート		
施策の基本方向		4 産業基盤の強化
具体的な取組に関するご意見		29 交通ネットワーク等、企業立地環境の整備推進
現状の取組	①事業主体	帯広市ほか
	②事業内容	工業団地の整備・販売【工業労政課】 国土交通省等への高規格幹線道路整備要望【十勝圏活性化推進期成会】
	③その結果	西20条北工業団地の空き区画残りわずか 高規格道路帯広・広尾自動車道の更別IC以南へ延伸予定
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（関係機関）
	②想定される具体的な内容	工業系用地の必要性・あり方について今後検討予定。 引き続き、高規格幹線道路整備要望を実施。

事業検討シート		
施策の基本方向		4 産業基盤の強化
具体的な取組に関するご意見		30 設備投資促進のための財政支援の拡充
現状の取組	①事業主体	帯広市
	②事業内容	帯広市企業立地促進条例による優遇措置
	③その結果	平成24年度 課税免除 4件 平成25年度 補助金交付 2件、課税免除 3件
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市
	②想定される具体的な内容	既存企業の設備投資促進、域外企業の誘致につなげるための優遇制度について、企業ニーズの調査等を踏まえて検討する。

事業検討シート		
施策の基本方向		4 産業基盤の強化
具体的な取組に関するご意見		31 ビジネスマッチングに特化した情報集約・発信。(インターネット等による域内企業の効果的な紹介等)
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広市
	②想定される具体的な内容	十勝管外の十勝関係者のネットワーク等を活用し、ホームページや情報冊子等のツールを用いて、十勝の情報を発信する。【6 再掲】

事業検討シート		
施策の基本方向		4 産業基盤の強化
具体的な取組に関するご意見		32 観光ポータルサイトの整備
現状の取組	①事業主体	十勝観光連盟、帯広観光コンベンション協会、帯広物産協会
	②事業内容	十勝・帯広の「あそぶ」・「食べる」・「見る」・「買う」に係る魅力の発信を各団体のホームページやフェイスブックで紹介している。 (例) 十勝総合振興局「Visit Tokachi」 http://visit-tokachi.jp/jp
	③その結果	H25年度実績 ・十勝観光連盟ホームページアクセス件数・・・132,183件 ・帯広観光コンベンション協会ホームページアクセス件数・・・261,330件 ・帯広物産協会「十勝市場売上実績」・・・1,165,703円(269件)
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広市
	②想定される具体的な内容	・ホームページやフェイスブックの更なる魅力向上について、各団体と協議していく。 ・十勝・帯広のアクティビティを集約した総合予約サイトの開設を検討している。

事業検討シート		
施策の基本方向		4 産業基盤の強化
具体的な取組に関するご意見		33 再生可能エネルギーへの取組への抜本的検討
現状の取組	①事業主体	帯広市、十勝19市町村、各事業者
	②事業内容	太陽光エネルギーやバイオマス資源の活用促進(「帯広市環境モデル都市行動計画」「十勝バイオマス産業都市構想」等の推進)
	③その結果	各事業者における太陽光発電システム、家畜排せつ物を活用したバイオガス発電プラントの整備が進展。
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広市(十勝19市町村、各事業者)
	②想定される具体的な内容	省庁・関連企業等から情報収集を行い、新たな事業やプレイヤーの発掘を行い、引き続き、再生可能エネルギーの活用促進に資する取組を進める。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		34 体験⇒物販⇒飲食などのストーリー性や統一感のある観光地の形成を目指す
現状の取組	①事業主体	帯広市、SPCとかちむら
	②事業内容	・平成22年8月に観光交流拠点施設として、「とかちむら」をオープンした。 ・地場産野菜や加工品が並ぶ「産直市場」、レストラン街の「飲食ゾーン」、スイーツが揃う「物販ゾーン」の複合施設で多くの市民や観光客が訪れている。 ・隣接する帯広競馬場と連携したイベント等を実施するなど「ばんえい競馬」の振興にも寄与している。
	③その結果	「とかちむら」の来場者数及び売上金額 ・H25来場者数・・・265,162人 ・H25売上金額・・・1億6,602万474円
今後の取組(想定)	①事業主体	観光事業者(帯広市、帯広観光コンベンション協会)
	②想定される具体的な内容	・農作物の栽培、収穫、食品加工体験、1次、2次製品の販売、飲食などをひとつの施設で提供している「オークビレッジ柏の葉」(千葉県柏市)や「くるもの杜」(北広島市)などを手本に、統一感ある観光地の形成を目指す。 ・ばん馬馬車を運行し、「とかちむら」とスイーツ店など中心市街地を結ぶことにより、新たなストーリー性の創出を検討している。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		35 「とちかち検定」の実務化や資格取得者の雇用及び利活用の促進による観光案内の充実を図る
現状の取組	①事業主体	帯広商工会議所、帯広観光コンベンション協会、帯広市
	②事業内容	JR帯広駅1階に設置されている「とちかち観光インフォメーション」で、「とちかち検定」取得者をライフコンシェルジュとして活用している。
	③その結果	平成25年度実績 ・配置日数・・・11日間 (H25年7月13日～H25年8月11日までの土・日曜日と8月13日) ・配置延人数・・・24名
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広商工会議所（帯広観光コンベンション協会、帯広市）
	②想定される具体的な内容	・「とちかち検定」を観光実務で活用できるよう出題内容の改編や資格取得者の観光現場での利活用について検討をしていく。 ・地域ぐるみで観光振興を推進するうえで、市民一人ひとりが観光案内人であるという視点から、より多くの市民が「とちかち検定」を受験・取得してもらえるようPRを促進していく。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		36 「道の駅」の設置やインターチェンジの増設の要請などインフラ整備による観光客等の利便性の拡大について検討
現状の取組	①事業主体	帯広市
	②事業内容	・「道の駅」については、休憩施設としての利用のしやすさ、「道の駅」相互の機能分担の観点から適切な位置に設置するものとされている。また、駐車場やトイレが24時間利用可能であることなどの基準が設けられている。 ・市内には、「道の駅」的な機能を持つ「とちかちむら」を開業しているもの。 ・インターチェンジの増設については、「北海道十勝圏活性化推進期成会」等において要請活動を行っている。
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（関係機関、観光事業者）
	②想定される具体的な内容	・「道の駅」については、設置の必要性や既存施設の機能拡充による利活用について検討する。 ・インターチェンジの増設については、引き続き関係機関の要請活動と連携しながら、実現を目指す。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		37 道東自動車道延伸に対応した事業展開及び他地域との連携を図る(沿線地域との情報共有や周遊ルートの造成連携など)
現状の取組	①事業主体	帯広市
	②事業内容	「道内中核都市観光連携協議会」において、各中核都市(札幌市、函館市、旭川市、釧路市、北見市、帯広市)間での情報共有を図りながら、観光事業と観光資源を活用した連携事業を実施している。
	③その結果	平成25年度実績 ・道内中核都市周遊促進事業……各都市の観光スポット等を巡るスタンプラリーの実施等。(実施期間 H25.4.20～H25.12.19、参加者 4,052名) ・観光PR事業……北海道さっぽろ「食と観光」情報館PRスペースを活用し、各都市の観光PR、イベントPRのポスター及びパンフレットを掲出した。(実施期間 H25.7.10～H25.7.22、チラシ・パンフレット配布数 6都市合計 431部)
今後の取組(想定)	①事業主体	帯広市(観光事業者)
	②想定される具体的な内容	・明年2月に開催される「おびひろ永まつり」については、「さっぽろ雪まつり」及び「旭川冬まつり」と開催期間を合わせることで、三都市間の周遊を促進している。 ・今後は、日高地域や釧路市、網走市などの東北北海道地域との連携を強め、各都市の観光スポットを周遊するルートを造成について検討する。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		38 「フードバレーとかち」の概念や基準をわかりやすく示し、飲食店やホテルなど民間企業が関わりやすい環境を整えることで、民間による「フードバレーとかち」の普及を促進する(ホテルや飲食店などで共通食材の提供など)
現状の取組	①事業主体	フードバレーとかち推進協議会、関係機関 等
	②事業内容	フードバレーとかちに関する説明会、パンフレットの配布等を通じて、フードバレーとかちの考え方・取組等について説明。 特に、平成26年12月には、ホテル・飲食店を対象とした取組としては、十勝産食材を使用したメニューを展開している飲食店等に対し、共通のタペストリーを配布するなどの取組を実施。
	③その結果	平成26年12月実施のフェアについては、十勝管内100社107店舗が参加。消費者に対し、安全・安心で良質な十勝産食材を使用していることをPR。
今後の取組(想定)	①事業主体	フードバレーとかち推進協議会(関係機関)
	②想定される具体的な内容	引き続き、地域事業者に対してフードバレーとかちを分かりやすく説明する機会等を提供するとともに、フードバレーとかちの「見える化」に資する取組を進める。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		39 外国人誘客の先進地域との連携や既存の情報発信媒体を活用したPR活動を図る
現状の取組	①事業主体	帯広市、帯広観光コンベンション協会
	②事業内容	・今年の2月に外国人誘客の先進地である虻田郡ニセコ町に、オーストラリア人が好む十勝の冬の観光施設の発掘・調査として、ニセコ地域のオーストラリア人観光事業者を十勝へ招聘した。 ・中国向けの情報発信サイトである「悠悠北海道」に十勝の情報を掲載し、発信している。 ・厚生労働省の受託事業である実践型地域雇用創造事業において、「外国人観光客を対象とした十勝の魅力発信モデルツアー造成事業」を実施している。(平成26年7月～) ・十勝総合振興局「Visit Tokachi」 http://visit-tokachi.jp/jp
	③その結果	平成25年度実績(オーストラリア人観光事業者招聘事業) ・開催期間…平成26年2月23日～25日 ・参加者数…8名
今後の取組(想定)	①事業主体	観光事業者(帯広市)
	②想定される具体的な内容	・クラブメット サホロでは、明年7月3日～10月12日までの100日間、期間限定で夏季営業を始めることから、そこに滞在する外国人観光客に帯広市を周遊してもらえるよう、観光素材やルートの提案を検討したい。 ・札幌、旭川、函館などとの連携による外国人観光客の誘致事業を展開し、道内を周遊するツアーの造成を促進する。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		40 専門家や発信力のある人などを対象とした効果的なPRイベントを実施する(飲食事業者を対象に有名なパン屋さんを講師とした講習会の実施など)
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組(想定)	①事業主体	観光団体(帯広観光コンベンション協会、帯広市、帯広商工会議所、観光事業者)
	②想定される具体的な内容	事業概要や実施後の事業展開について、関係団体との協議を行う。(実施時期、会場、講師及び受講対象者の選考、フォローアップ、成果測定等。)

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		41 ホテルや旅行会社等と連携したアンケートの実施、及び客観的データの共有を図り、それらを活用した情報発信を行う
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市（観光事業者、帯広観光コンベンション協会）
	②想定される具体的な内容	関係団体において、アンケートの設問内容、データの収集方法と管理、データの活用方法等について、協議を行いたい。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		42 地域住民に十勝・帯広が観光地であることを意識付けするため、フォーラム等を定期的に開催する（パネルトークや住民参加型のワークショップの開催など）
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	十勝観光連盟、帯広観光コンベンション協会
	②想定される具体的な内容	・十勝・帯広の観光地などを地域住民に伝え、理解を深めてもらうことを目的としたフォーラムの開催を検討する。 ・開催内容は、観光に携わる著名人による基調講演、地域観光事業者によるパネルトーク、十勝・帯広が観光地として躍進するためのヒントや課題をテーマとした住民参加型のワークショップ等を想定。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		43 農場とガーデンの連携など観光ルートへのストーリー性の付加、及び新たな周遊ルートの造成を促進する
現状の取組	①事業主体	
	②事業内容	
	③その結果	
今後の取組（想定）	①事業主体	
	②想定される具体的な内容	具体的な取り組みは(34)、(37)、(44)、(45)のとおり

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		44 専門的な案内ができる農業ガイドを養成するなど、「十勝らしい」体験型観光の深化・醸成を図る
現状の取組	①事業主体	民間事業者、帯広市
	②事業内容	平成25・26年度に、国の緊急雇用創出事業を活用して、畑ガイドの養成などを実施した。 厚生労働省の受託事業である実践型地域雇用創造事業において、「外国人観光客を対象とした十勝の魅力発信モデルツアー造成事業」を実施している。（平成26年7月～）
	③その結果	畑ガイド受入実績・・・平成25年度 138人、平成26年度 1,031人
今後の取組（想定）	①事業主体	民間事業者（帯広市）
	②想定される具体的な内容	ファームツーリズム推進事業として、モニターツアーによるニーズの検証や旅行会社に対するモデルツアーの助成を検討している。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		45 「食」をメインとした観光振興に、知的観光資源やサイクリングなど他分野の観光資源を絡めた観光振興を推進する
現状の取組	①事業主体	観光事業者、帯広市
	②事業内容	サイクリングテストツアーの受入やサイクリング関係者の招聘を実施し、十勝・帯広の魅力発信を行ったほか、「とかちサイクルマップ」を製作することで、サイクリストへのホスピタリティの向上を図った。
	③その結果	○台湾サイクリング協会招聘事業 ・主催・・・ひがし北海道国際観光ルート整備協議会 ・内容・・・東北道の観光地を巡るサイクリング、交流会の開催 ・参加者数・・・5名 ○ホダカサイクリングテストツアー受入 ・主催・・・とかち観光誘致空港利用推進協議会 ・内容・・・サイクリングの実施、サイクリングコースの視察、交流会の開催 ・参加者数・・・13名 ○ジャイアント旅行社招聘事業 ・主催・・・ひがし北海道国際観光ルート整備協議会 ・内容・・・十勝・オホーツク地域のサイクルルートや観光地視察、交流会の開催 ・参加者数・・・4名
今後の取組（想定）	①事業主体	観光団体（帯広市、観光事業者）
	②想定される具体的な内容	サイクリングで十勝・帯広の食、知的観光資源、温泉などを巡るサイクルツーリズム推進事業として、サイクルコースの設定やレンタサイクル事業の強化など受入環境を整備するほか、サイクリングツアー受入やサイクリングイベントの誘致・支援について、検討している。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		46 外国人観光客の「不安・不自由・不便」を軽減するため、観光案内や飲食メニューを外国語や写真で表示するなどインフォメーションサービスの向上を検討する
現状の取組	①事業主体	観光事業者、帯広市、帯広観光コンベンション協会
	②事業内容	・JR帯広駅1階に設置されている「とかち観光インフォメーション」では、英語で外国人観光客に対応できる体制となっている。 ・とかち帯広空港や「とかちむら」に公衆無線LANを整備した。
	③その結果	平成25年度外国人宿泊人数 ・十勝管内 76,880人（うち帯広市 5,203人）
今後の取組（想定）	①事業主体	帯広市
	②想定される具体的な内容	外国人観光客へのインフォメーションサービスを向上させるため、観光案内や飲食店への各種情報提供を充実させていく。

事業検討シート		
施策の基本方向		5 集客・交流産業の振興
具体的な取組に関するご意見		47 バス・タクシーなどの二次交通を利用する観光客に対する情報提供の充実を図る
現状の取組	①事業主体	十勝圏二次交通活性化推進協議会
	②事業内容	十勝圏二次交通活性化推進協議会において、十勝管内における二次交通の充足と活性化による利用者の利便性向上などについて、検討している。
	③その結果	H25年度実績 ・バス、タクシーと十勝の観光素材を組み合わせた商品開発（バス関係商品32コース、4,128名利用。ハイヤー関係商品35コース、8名利用） ・協議会ホームページの開設及びパンフレットの作成
今後の取組（想定）	①事業主体	十勝圏二次交通活性化推進協議会（帯広市）
	②想定される具体的な内容	十勝圏二次交通活性化推進協議会と連携するとともに、各種広報媒体を活用した周知を強化する。